



Famio News

第56号

福島県鉄工機械工業協同組合

広報委員会



tekkou.or.jp

目次

理事長挨拶	2
交流懇談会	3~6
視察研修	7~8
事務局より	9~10
青年部会より	11

2022年も最終月12月、師走となり急に寒さが厳しくなったようです。これからは、一日一日より寒さが厳しい季節となります。皆様には、ご健康に留意頂きご自愛頂きたくお願い致します。

また、毎年のことですが1年経つのが早かったなあと思います。

あらためて「2022年の出来事」を見てみると国内でも世界でも、想像できなかったような出来事の多さにただただ驚くばかりです。



※時事通信フォトのアーカイブから、2022年の主要な出来事がピックアップされています。

<https://www.jijiphoto.jp/ext/news/year/2022/index.html>

たった1年だけでも、こんな多くの出来事が発生していることにびっくりです。まさに激動という言葉が適切な年だったのではないのでしょうか。そしてまた、こうした出来事に関連して、同じく激動する経済も予測不能なのが現実なのではと思います。

これらを考えると、一番腑に落ちるのは「ダーウィンの進化論」だろうと考えます。

<https://shinronavi.com/news/detail/110>

ここで、現在の知の巨人と言われている出口治明氏（元ライフネット生命社長、現立命館アジア太平洋大学学長）のメッセージが分かりやすいので紹介します。

※「必要な時に必要な場所にいろ！」——出口治明 語録※

このメッセージの中で出口氏は、ダーウィンの『進化論』を紐解きながら、生き残るためには「運」と「適応力」が必要であると語っています。

必要な時に必要な場所に「運」を持ち、ルールが変わってもすぐに「適応」できる力を持つことが、リーダーの条件だと説いています。

<https://globis.jp/article/5129>

（講演動画「歴史を変えたリーダーシップ」

<https://www.youtube.com/watch?v=i4gmR89ZXxA>

来年2023年は、世界的な景気後退が起こると言われています。

ただ、どんな環境になろうとダーウィンの進化論の教えに従い、組合・会員企業共に「運」を引き込み、時の最適解に向けて適応していけるような柔軟な組織、そして自分でありたいと思うところ です。

■ 交流懇談会

■ 福島市との交流懇談会が開催されました

令和4年8月26日(金)、福島市商工観光部と当組合との交流懇談会がホテル福島グリーンパレスにおいて、総勢23名参加のもと、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで開催されました。懇談会終了後には会場を移して3年振りに納涼会が開催され、福島市商工観光部の方々や組合員同士で親睦を深めました。

◎座 談 (座長 佐藤理事長)

(1) 当業界の現状について

○一般機械加工業	(有)高橋工作所	代表取締役	高橋 俊樹 氏
○機械製造業	(有)佐々木スチール工業	代表取締役	佐々木堅吾 氏
			(代読：石井)
○板金業	(株)永沢工機	取締役会長	永澤 俊二 氏
○設備・機械据付業	伊藤建設(株)	代表取締役	伊藤 滋 氏
○組合共同受注事業	福島県鉄工機械工業(協)	専務理事	石井 稔 氏
○福島県内一円の現況	福島県鉄工機械協同組合(連)	会 長	澁谷 修一 氏
○業界総括	(有)藤橋歯車鉄工所	取締役会長	藤橋進一郎 氏

(2) 福島市の支援行政について

◆福島市商工観光部 次長 清野 浩 氏より「新たな産業未来ビジョンふくしま～未来を創る強靱な産業の育成に向けて～」について

従来の工業振興計画に商業・ICT等の新たなサービス業を加え、今回、産業のグレードアップを図る計画に作り直した。更に、商業のまちづくり構想というものがあり、それも一体にして取り組むものというのも今回の計画の一つである。この上位計画に福島市総合計画というものもあり、その周期と併せるために令和7年度までの4カ年の計画となっている。「未来を創る強靱な産業の育成に向けて」というのが基本目標であり、それに向けて基本方針の1から3まで定めて各政策を進めている。その中で、産業ビジョンの中の工業の振興という事があり、その最上位に「経営の強靱化を進める」という事があり、その中で経営の強靱化を支援するメニューを一部抜粋したものが以下の内容である。

i 「新製品・新技術開発支援事業」

①新製品・新技術開発支援事業

役所には会計年度というものがあり、最初のうちに募集は終わってしまうため今年度の募集は終了しているが、来年度に向けて検討されていられれば菊池コーディネーターにご相談いただきたい。

②食品加工産業創出支援事業

本年度募集の方は終わっており、来年度に関しては菊池コーディネーターにご相談いただきたい。

③産学共同研究支援事業

補助率1/2で、随時募集中である。

④医療福祉機器等産業創出支援事業

上限**500**万と大きく、補助率**2/3**である。本年度の募集期間は終わっているが、来年度以降ご検討の方はご相談いただきたい。

⑤新たなビジネスモデル創出事業

一昨年（令和**2**年）からスタートしている制度で、コロナを受けて感染防止対策から始まった支援制度である。翌年度はデジタル化の推進枠、新事業創業の支援と**3**つの枠に拡充して進めており、新事業創業とはBCサイトやキャッシュレス決済等、デジタル化推進はデジタル広告の掲載等、感染対策はエアコンや空調の補助関係等がある。行政の支援制度は堅いイメージがあるが、この制度はとても柔らかいのでまだ感染対策等をやっているしやらない事業所があれば、是非申請いただきたい。

ii「販路拡大支援事業」

①展示会出展・販路拡大支援事業

コロナの影響で展示会が開催されていなかったが、最近は徐々に出てきているので、展示会に出展される際はお役に立てていただきたい。募集期間は来年の**2**月末までとなっている。

②海外EC販売プロジェクト、③海外見本市・展示会

こちらは、ジェトロ（日本貿易振興機構）さんの事業になっている。海外もパタッと動きが止まったようだが、活用事例としては、『さまざまなECサイトを通じて自社の商品を販売してみたい』、『海外に受け入れられるかテストしてみたい』といった方々が②・③の内容になっている。

iii「創業・第2創業支援事業」

①特定集積産業事業拡大・強化支援事業

本年度からの新規事業となり、**1,000**万と自治体としては破格の上限、補助率**1/2**となっている。特定集積産業という福島市で定めているロボット航空・医療健康・農産物加工といった集積産業で誘致等をしているが、そのような産業限定となってしまう、且つ国の承認を受けている計画、例えば、事業再構築補助金を特定集積産業の方が受けられている、コーディネーターさんの推薦を受けてとか、その辺がメインとなる。

②創業応援利子補給事業

従前であるが、利子が**1**年間、中心市街地の方が創業すれば**2**年間、福島市で利子を全額支援する。

iv「事業承継支援事業」

①若手ものづくり後継者育成事業

昨年度から開始した事業で、昨年、佐藤理事長を始め青年部さんへお声がけをさせていただき、青年部から高橋代表を始め、一期生として**9**名の入塾いただいた。本年度も**2**期生の募集をしており、ベーシックとなる基礎コースは昨年度に引き続き今年度も予定している。ただ、今年度は**1**期生を対象としたマスタークラスも設けて事業の拡大を行いたい。

最後に、震災や原発事故等々と併せて今回のコロナや原材料の高騰、福島県では**2**年連続震度**6**クラスの地震に遭うという事もあったが、そのような中であっても持続可能で実力のある産業を目指して官民一体となって進めて行きたいと述べられ、当組合員へ新事業等への今後の協力を依頼なされた。

(3) その他

◆福島市産業支援コーディネーター 菊池正直 氏より情報提供

①「ハイテクプラザ駅前技術相談会」について

ハイテクプラザ福島がなくなり、ハイテクプラザ郡山から本田部長をはじめ毎月第4木曜日にコラッセふくしまの4階と3階に来ていただき、ハイテクプラザ駅前技術相談会を開催している。サロンのような雰囲気です。何でも相談に乗っていただける。ハイテクプラザさんは常に企業さんの立場に立って色々な解決策を出していただき、技術的な話になるが、どんな課題でも良いので是非相談に来てほしいと言っている。私も必ず出て色々なお話を聞くという事をしているので、そのような案件があった場合は当日直接来ていただいても良く、事前に何かあれば、それに対して回答も持ってきていただけるので、ハイテクプラザさんを大いにご利用いただきたい。

②「産業支援機関ネットワーク構築事業」について

県の知財事業で、県内の産業機関とは県北はふくしま新産業推進協議会、郡山は郡山テクノポリス、会津、いわき、南相馬と色々あるが、そういった支援機関に在籍しているコーディネーターの資質をある程度上げようと考えて始まった事業です。『こういった技術を持った企業さんと一緒に商品開発をしたい』とか『素晴らしい物を作ったが売り方をどうしようか』というようなところを課題として持ってきていただければ、県北のコーディネーターだと県北に限られてしまうので、少しオープンにはなるが、それを県内全域のコーディネーター支援機関に発表していただき、そこでのマッチングを図るといったようなことを、今年、県の方でやっていた。私も色々とお手伝いをしているので興味のある方は是非お問い合わせいただきたい。

③「価値デザイン経営セミナー」について

県の知財事業で「価値デザイン経営セミナー」が始まった。これは、国の内閣府が「価値デザイン経営」を進めて新しいことに進んでいただきたいということです。是非頭に入れておいていただきたい。この事業は、今の事業を伸ばしていくにはどうすればいいのかということ、将来、5年後・10年後の未来の姿をまず描いて、そこからの発想でどのようなステップでいくかというようなことをやるツールです。今までだと、産業支援機関はどうしても伴走型の支援で伸ばしていくことをやっていたが、それをすることによって、伴走しながら企業さんが自ら自走でやっていくという考え方の下にやっているものです。



④「デジタル化の推進」について

最近、デジタル化の取組みをいかに進めるかが一番大事になってきており、どこに行ってもその話が出ます。先日、会津大さんのAIによる製造工程のセミナーの中で、例えば、金属表面研削で水滴と傷を見分ける場合に叩き込み式の技術を使うのですが、そのようなこともAIを使うことによって自動的に検出でき効率化を図れるとか、ファンモーターの異常音を検出することも通常音と異常音を勉強させることによって自動で検出できる等、そのような、困っていることをAI・ロボットがやっていくことによって少なくとも今よりは効率化を上げていくということに是非取り組んでいただければと思っています。

ハイテクプラザの駅前技術相談会の本田部長からの事例紹介ですが、電子基盤のはんだ付けの不良品は、今までX線によって不良品を分けていたのですが、それを画像でAIが判断するということの基本的な仕組みをハイテクプラザが構築したということで、それを相談した企業さんの所に導入してトライアルをしているということもあります。或いは、会津の砂型を作っている企業さんで、砂型の表面に塗布する作業をロボット化することで、ロボットがどの位の力でどの位の速さでやれば良いのかという基本的なところをハイテクプラザがロボットテストフィールドでやっていただけたということですので、例えば、基本的なロボットの条件を見極めた上で、その後Sler（ロボットシステムインテグレーター）化して会社の工程内に入れるということも必要になってくる等、色々な事例があると思います。

企業さんのどのような問題でも結構ですのでご相談いただければ少しずつ対応したいと思いますのでよろしくお願ひします。



■ 視察研修

経営研究委員会

工場見学のご報告（永澤経営研究委員長）

組合員の皆様におかれましては、年末を控えお忙しい毎日を送られていることと存じます。本年度の工場見学は、去る令和4年10月12日(水)、「ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場」と「ハイテクプラザ南相馬技術支援センター」を新型コロナウイルス感染対策のため2班に分かれて見学し、16名の方にご参加いただきました。

「ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場」の見学について

最先端の技術と設備を備えております。省力工場の無人化や、自動運転で量産から多品種少量生産まで、省力化を進めることが必要とされた場合には企画から相談できる体制をとっているそうです。

「ハイテクプラザ南相馬技術支援センター」の工場見学について

企業の技術相談・開発支援・共同研究やX線CT装置・減圧恒温測定等、高度な検査も行われております。受注先又は開発で高度な技術が求められる場合はこのような設備を利用することが良いと思われま

す。我々製造業も人口減少の影響を受けて少人数での生産を求められておりますので、会社の方向性が省人化を求められた場合、上記の見学先を利用して安定成長を目指すことが必要かと思われま



◇ご参加いただいた皆様のご感想を一部ご紹介いたします(アンケートより)

(ロボコム・アンド・エフエイコムの見学について)

工作機械と工程管理のDX化の極致を見せつけられた。但し、作業者の作業も管理され自由な発想による画期的なアイデアを期待することは難しそうな気がした。

最新の工作機械をロボット活用による自動化で省人化を実現しており、機械加工業の将来進む形が見えてきました。

工場と最新設備には驚かされました。目標にするには次元が違いすぎると感じました。



(ハイテックプラザ南相馬技術支援センターについて)

最新鋭設備を詳細に説明していただき、非常に勉強になりました。

ロボットテストフィールドが隣接していることもあり、ドローンやロボット開発に役立つ試作加工機械や試験機が取り揃えてあり、今後の研究開発に大いに役立つと思いました。

測定からの3D展開等利用したい機械があり、有効に活用したい。

(その他のご感想)

久しぶりの視察研修でとても新鮮味があり、楽しく色々と学べました。

工場見学も大切ですが、組合員同士のコミュニケーションも取れたのが良かったと思いました。

日帰りとは短い時間でしたが、密の濃いスケジュールでとても勉強になりました。



■事務局より

令和4年度 秋の叙勲

令和4年11月3日、秋の叙勲が発令され、当組合顧問の藤橋進一郎様が中小企業振興功勞のご功績により旭日双光章を受章なされることが発表されました。伝達式は、令和4年12月22日、杉妻会館で挙行される予定となっております。

藤橋顧問には、当組合理事長を4期8年、理事・副理事長を含めると20年以上の永きに亘り役員をお務めいただき、当組合や業界の発展のためにご尽力いただきました。伝達式に先立ち、当組合役員会において、藤橋顧問のこれまでのご功績・ご功勞に感謝の意を込めて花束と記念品を贈呈させていただきました。

藤橋顧問、この度は誠にありがとうございます。これからも、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



令和4年度 福島市技能功勞者表彰

令和4年11月5日、「アクティブシニアセンター アオウゼ」にて「令和4年度福島市技能功勞者表彰」の表彰式が挙行され、当組合員の野田鉄工(有) 阿部典生様を受賞されました。受賞おめでとうございます。



• 中小企業の割増賃金率の引き上げについて

2023年4月1日から月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられます。就業規則の変更が必要となる場合もございますので、同封のリーフレット及びガイドラインをご参照いただき、必要がある場合はご対応くださるようお願いいたします。

・事業報告・予定

開催日	事 項
R4.7.12	経営研究委員会・親善委員会 合同委員会
8.2	第5回理事会
8.17	第1回福島市中小企業振興会議
8.19	(株)福島製作所協力会 理事会
8.25	第67回福島県溶接技術競技会表彰式
9.1	健康診断 (12社)
9.6	第1回ふくしま知財戦略協議会 (ZOOM) (連)
9.12	自由民主党福島県議会議員会 各種団体要望聴取会 (連)
10.7	全国労働保険事務組合連合会福島支部 創立五十周年記念式典・祝賀会
10.29	山哲興業(株)代表取締役ご母堂様 横山都希子様 通夜
11.1	第6回理事会
11.24	福島県中小企業団体中央会 第1回常任理事会 (連)
11.25	(株)福島製作所協力会 理事会
12.9	第7回理事会
12.12	組合トップセミナー (連)
R5.1.4	福島市新年市民交歓会
1.6	関係機関 新年挨拶回り
1.18	福島県中小企業団体中央会主催 「省エネルギー最適化」に伴う研修会
2.3	組合新年会

■ 青年部会より

■ 青年部会事業報告・予定

日付	行事	場所	人数
7月8日	第2回 定例会	組合事務所 2F	6名
9月9日	令和4年度 青年部 納涼祭	うまか亭 粋	11名
10月27日	中央会ボーリング大会	ラウンドワンスタジアム郡山店	5名
10月29日	第8回ゴルフコンペ	大玉カントリークラブ	延期
11月11日	第3回定例会	オンライン	5名
11月18日	夢創塾一期生懇親会	たすいち	6名
12月16日	忘年会	未定	未定

■ 青年部会員 募集のお願い ■

青年部会では組合企業に限らず部会員を随時募集しております。**48歳未満**の後継者の方は、是非とも入会をご検討願います。

また、入会希望の方は組合事務局へお気軽にお問い合わせください。